

令和元年度 飯塚市児童センター等運営委員会議事録

1. 日 時 令和2年1月31日（金）午後2時00分～午後3時00分
2. 場 所 飯塚市役所 5F 研修室
3. 出席者（委 員）飯塚市立小中学校校長会 飯塚小学校校長 野島 剛文
 飯塚市民生委員児童委員協議会 理事 小池 千津子
 一般公募委員 佐々木 聡子
 一般公募委員 萬田 友子
 一般公募委員 藤嶋 幸恵
 子育てオアシス 代表 藤江 文雄
 NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会 理事長 久保 満男
 飯塚市自治会連合会 理事 岩崎 鉄雄
 児童クラブ保護者代表 児童クラブ保護者会 橋本 正子
 飯塚市子ども会指導者連絡協議会 会長 氷室 敏幸
 （欠 席）飯塚市小中学校PTA連合会 副会長 藤川 祐介
 （市） 久原部長
 学校教育課 小林課長、大谷課長補佐、城谷指導主事、野見山係長、木村

4. 議 題

- (1) 運営委員会会長及び副会長の選任について
 (2) 児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について
 (3) 児童クラブを中心とした放課後児童の支援のあり方について
 (4) その他

5. 議事録

議事1 運営委員会会長及び副会長の選任について	
事務局	会長、副会長の選任について、どなたか発言はありますか。
委 員	事務局に一任します。
事務局	あらかじめ相談をしていましたので、会長に藤江文雄委員を、副会長に小池千津子委員を推薦したいと考えております。
委 員	(委員が拍手をする)
会 長	第2期飯塚市子ども・子育て支援事業計画を読ませていただきましたが、立派な指針、方針を持って取り組んでいかれるのだと感じました。金なし、人なし、物なしの中で皆さんの力を集めながら、子育てに関わっていこうとされるそういった方向性には、将来を見通せると安心しています。現場にいる方や事務局は大変だと思いますが、皆さんの提案をいただきながら、本会議がスムーズに、効果的になるように皆さんと協力しながら進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。 それでは、議題（2）に参ります。「児童センター（児童館）及び児童クラブの運営

	状況について」事務局から説明をお願いします。
議事 2 児童センター（児童館）及び児童クラブの運営状況について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1 ページの児童センター等配置図であり、19 か所の児童センター、児童館及び児童クラブが飯塚市のどの位置に設置されているかを表している。 ・2 ページから 6 ページは、各児童センター、児童館、児童クラブの写真と活動内容について説明している。主な活動として三世代ふれあい会、外部ボランティアを招いての教室等を行っている。 ・7 ページは、各児童センター、児童館の前年度事業実績、8 ページが今年度の事業計画になっている。 ・9 ページは、ボランティア事業の前年度事業実績、10 ページが、令和元年度の事業計画になっている。生涯学習課のボランティアネットワーク事業に登録していただいたボランティアの方々に協力していただき、手話、卓球、工作など各教室を実施している。 ・11 ページは、児童センター、児童館の設置状況と前年度の利用状況について示している。児童センター、児童館の利用者は、市内居住の 18 歳未満の子どもはだれでも利用できる。児童クラブ利用者は、就労等によりご家庭で子どもを見ることができない世帯で、児童クラブの入所手続きをしている小学生が対象となる。年間利用者数は、年間利用の延べ人数である。児童クラブについては、2,000 人近くの児童が入所登録しており、延べ人数で年間、約 43 万人の利用実績となっている。 ・12 ページは、市内の各児童センター、児童館及び児童クラブの実施に要する事業費について平成 30 年度の予算額、決算額及び令和元年度の予算額を示している。児童センター運営事業費の令和元年度の予算額が、平成 30 年度予算額と比較して増となっている要因として、児童センター運営委託料と光熱水費の増によるものである。最後に児童クラブ運営事業費の令和元年度の予算額が、平成 30 年度予算額と比較して増となっており、主に委託料の増が要因となっている。 ・13 ページは、小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率を示している。小学 1 年生の比率が多く、学年が上がるにつれて入所児童が減っている傾向がある。また、全体的には増加の傾向にある。 ・14 ページは、令和元年度の入所定員及び令和 2 年 1 月 1 日現在の入所児童数及び支援員数の状況を示している。支援員の数は、特別支援学級在籍の児童の支援の追加配置を含めた総数 112 名である。また平成 31 年 4 月 1 日での登録者数は、2,215 名で、令和 2 年 1 月 1 日現在の登録者数は、2,066 名となっている。
会長	質問はありますか。
委員	三世代交流会は、地域の方々にもどのように周知されていますか。
事務局	地域の老人会等を通じてご案内させていただいていますので、地域の方にもご参加していただいています。
委員	小中一貫校、小学校だけの所がありますが、児童センターとしての違いはありますか。子どもたちの関わり方という点で、小学校だけで遊んでいる子たちと小学生が中学生と一緒に遊んでいるなど色々と交流があるのか知りたいです。
事務局	例えば、ブラスや音楽部を持っている学校では、児童クラブに行くと演奏会をしているところもあります。全てではありませんが、そういった所もあります。

委員	14 ページの「うち障がい児童数」とありますが、この子たちは普通校に通っている子たちでしょうか。また、外国の方は何人いますか。
事務局	障がいのある子につきましては、通常の小学校に通学していて特別支援学級に在籍の子になります。また外国人の児童クラブ利用者数に関しては、全児童クラブで10名程度は在籍しています。
委員	ありがとうございます。
議事3 児童クラブを中心とした放課後児童の支援のあり方について	
事務局	16 ページは、平成29年度から児童クラブの業務が教育委員会に移管され、各児童クラブで学習プログラムを導入した取り組みが行われております。今年度児童クラブを中心とした放課後児童の支援のあり方検討会を立ち上げ、児童クラブと放課後子ども教室を含めた放課後で児童に身に付けてほしい力などの明確なビジョンを策定することにしています。最終的なものは後日策定予定ですので、現在の状況としてのご報告をさせていただきたいと思っております。
会長	質問はありますか。
委員	(質問無し)
議事4 その他	
事務局	18 ページは、児童センター、児童クラブに関して計画内容です。今年度第2期飯塚市子ども・子育て支援事業計画の策定年度となっており、児童センター、児童クラブに関して計画内容に含まれていますので、ご報告させていただきます。令和2年度から令和6年度までの児童の人口推移に基づき、算出した結果での児童クラブ登録者の見込みを記載しています。また児童センター、児童館に関して19 ページに事業内容と今後の方針を具体的に記載しています。
会長	質問はありますか。
委員	次回の開催がいつになるか分かったら教えてください。 また、「子どもに豊かな放課後を」の本についてですが、私は本が好きでよく読むのですが、普通の本には1 ページ目に目次があり、その本の流れが分かります。しかしこの本は、目次がなく、すぐに主題に入ります。目次があれば自分の興味のあるところから読み始めることができます。せっかく製本されたのであれば、なぜ目次を作らなかったのか気になります。
事務局	日程に関しましては、来年度も開催する予定ですので、事前にお知らせしたいと思います。
会長	子育てがしやすいから飯塚に住んでくださいと言えるようになればと思います。委員にもご理解とご協力いただいてこの会が2年間意義あるものになるように進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 飯塚市児童センター等運営委員会次第 ・児童センター等配置図 (資料1) ・児童センター等の紹介 (資料2) ・平成30年度 児童センター等事業実績 (資料3) ・令和元年度 児童センター等事業計画 (資料3) ・平成30年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業報告書 (資料4) ・令和元年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業計画書 (資料4)

	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センター（児童館）設置状況と利用状況（資料 5） ・児童センター（児童館）及び児童クラブに係る事業費（資料 6） ・令和元年度 小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率（資料 7） ・令和元年度 児童クラブ入所者数（令和 2 年 1 月 1 日現在）（資料 8） ・飯塚市児童センター等運営委員会委員名簿（資料 9） ・児童クラブを中心とした放課後児童の支援のあり方(ビジョン)(仮称)の策定について（資料 10） ・第 2 期 飯塚市 子ども・子育て支援事業計画：抜粋、一部変更（資料 11）
公開・非公開の 区分	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)
その他	